

大 第 5 3 2 号
循 社 第 5 8 4 号
平成29年10月24日

関係団体の長 様

千葉県環境生活部長
(公印省略)

平成29年度大気汚染防止のための冬期対策の実施について(依頼)

環境保全行政の推進につきましては、日頃格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて県では、冬期に二酸化窒素等の大気汚染物質濃度が高くなることから、11月から1月の間を「大気汚染防止のための冬期対策期間」として、下記のとおり関係者に大気汚染物質の排出抑制や自動車の使用抑制等の実施についてお願いしています。

つきましては、貴団体等におかれましても、この間の大気汚染物質の排出低減に努めるよう会報等による会員への周知につきまして、御協力をお願いいたします。

記

1 対策実施期間

平成29年11月1日(水)から平成30年1月31日(水)まで

2 大気汚染防止のための冬期対策内容

別添「大気汚染防止のための冬期対策メニュー」に掲げた排出抑制のための対策のうち、事業者・団体が実施する対策の実施。

【問合せ先】

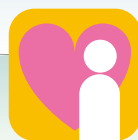
- (1) ばい煙発生施設等について
千葉県環境生活部大気保全課
大気指導班・大気規制班
電話：043-223-3802・3804
- (2) エコドライブの推進について
千葉県環境生活部循環型社会推進課
環境保全活動推進班
電話：043-223-4144

簡単!

エコドライブ・テクニック

エコドライブは、だれでも簡単に取り組める環境に優しい運転方法です。

エコドライブの 3大効果



ひとに優しい

エコドライブは、安全運転につながるため、交通事故が51.2%も減ります!



お財布に優しい

ガソリン費用が節約できます。
約10%の燃費改善につながります!



環境に優しい

燃費改善率にほぼ比例して、
二酸化炭素(CO₂)排出量が減ります!
有害な大気汚染物質も減ります!

地球温暖化対策や環境負荷低減のために、私たちにできること

外出するときは、なるべく**公共の交通機関**を利用し、運転するときは、極力、**エコドライブ**を心がけましょう。

電気自動車などの**次世代自動車**は、環境に優しいエコカーです。マイカーの買い替えのときは、環境にも配慮しましょう。

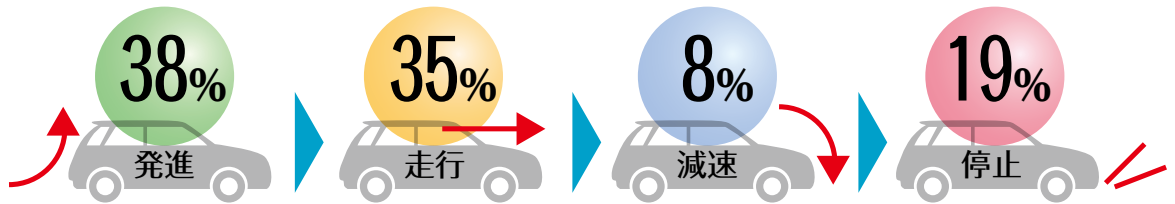
教えます!

誰でもできるエコドライブの4つのコツ

走行パターンと燃料の消費

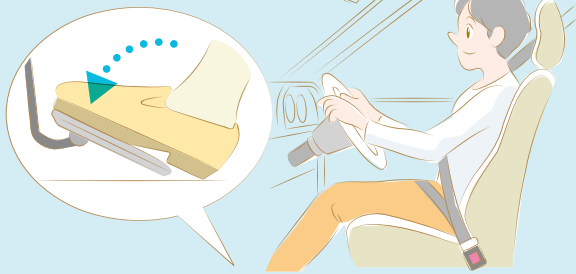
車は、発進・走行・減速・停止を繰り返しながら走っています。
走行パターンに応じたエコドライブを心がけましょう。

燃料消費率



発進

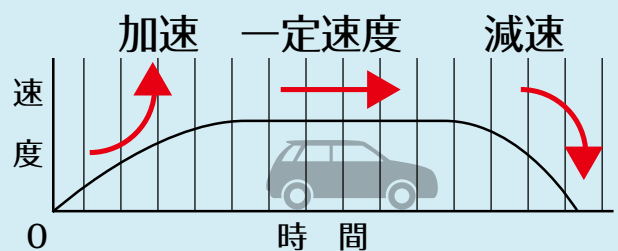
1 ふんわりアクセル「eスタート」



発進するときは、穏やかにアクセルを踏んで発進しましょう。
(最初の5秒で、時速20km程度が目安です。)
日々の運転において、やさしい発進を心がけるだけで、10%
程度燃費が改善します。焦らず、穏やかな発進は、安全運転
にもつながります。

走行

2 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転



走行中は、一定の速度で走ることを心がけましょう。車間距離
が短くなると、ムダな加速・減速の機会が多くなり、市街地では
2%程度、郊外では6%程度も燃費が悪化します。交通状況に
応じて速度変化の少ない運転を心がけましょう。

減速

3 減速時は早めにアクセルを離そう



信号が変わるなど停止することがわかったら、早めにアクセル
から足を離しましょう。そうするとエンジンブレーキが作動し、
2%程度燃費が改善します。また、減速するときや坂道を下る
ときにもエンジンブレーキを活用しましょう。

停止

4 ムダなアイドリングはやめよう



待ち合わせや荷物の積み下ろしなどによる駐停車の際は、
アイドリングはやめましょう*1。10分間のアイドリング(エアコン
OFFの場合)で、130cc程度の燃料を消費します。また、現在の
乗用車では基本的に暖機運転は不要です*2。
エンジンをかけたらすぐに出発しましょう。

※1 交差点で自らエンジンを止める手動アイドリングストップは、以下の点で安全性に問題があるため注意しましょう。(自動アイドリングストップ機能搭載車は問題ありません。)

- 手動アイドリングストップ中に何度かブレーキを踏むとブレーキの効きが悪くなります。
- 慣れないと誤作動や発進遅れが生じます。また、バッテリーなどの部品寿命の低下によりエンジンが再始動しない場合があります。
- エアバッグなどの安全装置や方向指示器などが作動しないため、先頭車両付近や坂道での手動アイドリングストップは避けましょう。

※2 -20℃程度の極寒冷地など特別な状況を除き、走りながら暖めるウォームアップ走行で充分です。

運転以外にもできるエコドライブ

5 タイヤの空気圧から始める点検・整備



タイヤの空気圧チェックを習慣づけましょう。タイヤの空気圧が適正值より不足すると、市街地で2%程度、郊外で4%程度燃費が悪化します(適正值より50kPa(0.5kg/cm²)不足した場合)。また、エンジンオイル・オイルフィルタ・エアークリーナーエレメントなどの定期的な交換によっても燃費が改善します。

6 エアコンの使用は適切に



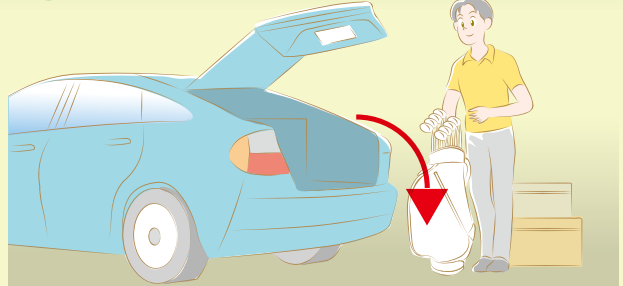
車のエアコン(A/C)は車内を冷却・除湿する機能です。暖房のみ必要なときは、エアコンスイッチをOFFにしましょう。また、冷房が必要なときは、車内を冷やしすぎないようにしましょう。たとえば、車内の温度設定を外気と同じ25℃に設定した場合、エアコンスイッチをONにしたままだと12%程度燃費が悪化します。

7 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう



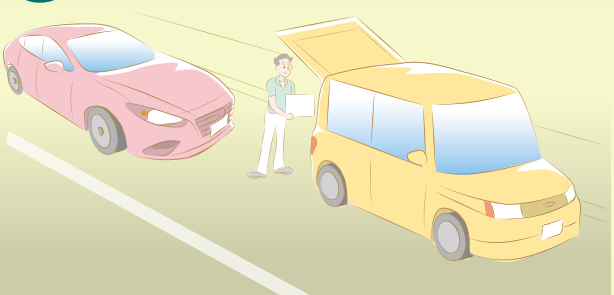
出かける前に、渋滞・交通規制などの道路交通情報や、地図・カーナビなどを活用して、行き先やルートをあらかじめ確認し、時間に余裕をもって出発しましょう。さらに、出発後も道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃費と時間の節約になります。たとえば、1時間のドライブで道に迷い、10分間余計に走行すると17%程度燃料消費量が増加します。

8 不要な荷物はおろそう



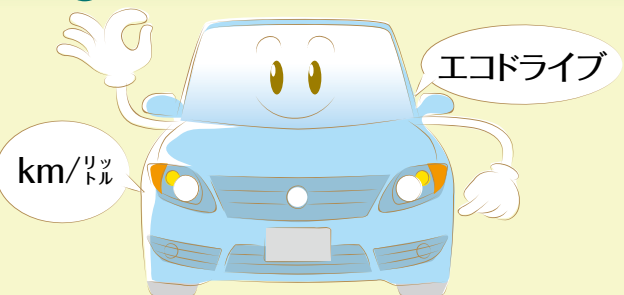
運ぶ必要のない荷物は車からおろしましょう。車の燃費は、荷物の重さに大きく影響されます。たとえば、100kgの荷物を載せて走ると、3%程度も燃費が悪化します。また、車の燃費は、空気抵抗にも敏感です。スキーキャリアなどの外装品は、使用しないときには外しましょう。

9 走行の妨げとなる迷惑駐車はやめよう



迷惑駐車はやめましょう。交差点付近などの交通の妨げになる場所での駐車は、渋滞をもたらします。迷惑駐車は、他の車の燃費を悪化させるばかりか、交通事故の原因にもなります。迷惑駐車のない道路では、平均速度が向上し、燃費の悪化を防ぎます。

10 自分の燃費を把握しよう



自分の車の燃費を把握することを習慣にしましょう。日々の燃費を把握すると、自分のエコドライブ効果が実感できます。車に装備されている燃費計・エコドライブナビゲーション・インターネットでの燃費管理などのエコドライブ支援機能を使うと便利です。

エコドライブと地球温暖化

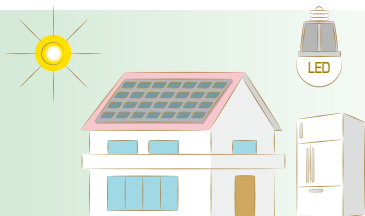
地球温暖化対策のために、私たちにできること

日常生活で排出している二酸化炭素(CO₂)は、森林等の吸収量よりはるかに多いため大気中で増え続けており、地球温暖化が進行する原因となっています。 私たちが安心して暮らせる地球を維持していくため、一人ひとりが**コツコツ**と二酸化炭素排出削減の取組を進めていく必要があります。

家庭における取組の例

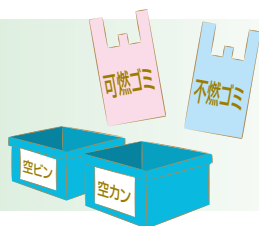
省エネ設備

- 省エネ家電の使用
- 照明のLED化
- 次世代自動車などの選択
- 太陽光発電の設置 など



ごみの減量

- ごみの発生抑制・再使用(2Rの推進)
- 食べきりの実践
- ごみの分別排出 など



低炭素なライフスタイル

- マイバッグ・マイボトルの持参
- クールビズ・ウォームビズの実践
- 公共交通機関の利用
- エコドライブ など



地球温暖化対策

ひとつひとつの
積み重ねが
明るい未来に
つながるね

千葉県マスコットキャラクター
「チーバくん」



エコドライブの効果

エコドライブを行うと、乗用車1台あたり、1年間で
約139kg-CO₂*¹の削減効果があります。

千葉県には、約274万台*²の乗用車があり、
すべてのドライバーがエコドライブを行うと、
約38万トン-CO₂が削減されます。

これは、東京ドーム約9,000個分*³の森林面積のCO₂吸収量です。



*¹ 1年間平均走行距離10,000km、燃費改善率10%、平均燃費15km/L、ガソリン1LあたりのCO₂排出量2.3kg-CO₂として算出

*² 一般財団法人自動車検査登録情報協会のホームページより

*³ 40年生前後のスギの年間CO₂吸収量(1haあたり)8.8トン-CO₂、東京ドーム面積約4.7haとして算出

発行元／千葉県 環境生活部 循環型社会推進課 環境保全活動推進班

TEL:043-223-2760/4144

HP: <https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/jidousha/index.html>

千葉県 エコドライブ

検索



アイドリング・ストップにご協力を

千葉県条例では、駐停車中のエンジンの停止が義務付けられています。

駐車したら、エンジンを速やかに停止してください。

不要なアイドリングはやめましょう！
駐車場では車も休憩

しずかに
してね



アイドリング・ストップにご協力を！

～青い空、きれいな空気を子ども達に残すために～

(環境保全条例 第56条の6)

千葉県条例では、運転者に自動車を駐車又は停車するときのエンジン停止を義務付けています。

アイドリング・ストップは、大気汚染の改善、騒音の低減及び地球温暖化の防止だけでなく、燃料の節約にもつながります。

きれいな地球を未来に残すため、アイドリング・ストップにご協力をお願いします。

こんな時、不要なアイドリングはやめましょう！

- 運転者が車から離れているとき
- 荷物の積み下ろしのとき
- 駅などで客待ち、人待ちのとき
- スーパー・コンビニなどで買い物のとき
- サービスエリアなどで休憩するとき

忘れずに！



「1日10分間アイドリング・ストップを行った時の効果」 (環境省資料より)

代表的な車種	燃料消費量 (l/年)	二酸化炭素排出量 (kg/年)
乗用車 (2000cc ガソリン車)	51.1	32.85
大型トラック (10t 積ディーゼル車)	80.3~109.5	58.4~80.3

こんな場合は、アイドリング・ストップ義務の対象外！

- 信号待ち・交通渋滞・人の乗り降りで停車する場合
- 貨物の冷蔵装置等の動力として使用する場合
- 緊急自動車を緊急用務で使用する場合

乗用車は、20分のアイドリングで牛乳ビン1本以上の燃料が使われます。アイドリング・ストップで青い空、きれいな空気を守りましょう！

運転者以外についても、次の事項が義務付けられています。

自動車を使用する事業者

事業者が管理する自動車の運転者にアイドリング・ストップをするよう指導してください。

収容能力20台以上又は面積500㎡以上の駐車場の設置者及び管理者

駐車場の利用者がアイドリング・ストップをするよう、看板の掲示等により周知してください。

※看板は裏面を参考にしてください。

貨物の積み卸し施設設置者

冷蔵装置等を有する貨物自動車が積み卸しの際、エンジンを停止した状態で冷蔵装置等を稼働できるよう、外部電源の設置に努めてください。

< 問い合わせ先 >

千葉県環境生活部大気保全課

< TEL >

043 (223) 3810

大気汚染防止のための冬期対策メニュー

冬期は、大気汚染物質がよどみやすい気象条件が多くなります。そこで、大気汚染の原因となる窒素酸化物等の排出を抑制するための対策メニューをまとめました。なお、対策メニューは微小粒子状物質（PM2.5）の低減にも有効と考えられます。また、11月は、エコドライブ推進月間です。急発進・急ブレーキを行わない等のエコドライブを実践しましょう。

I 事業者・団体が実施する対策メニュー

共通事項

- ☐ 大気汚染防止のための冬期対策メニューの内容について、社内、関連企業・関係者・利用者に周知しましょう。
- ☐ 節電に努めましょう。
- ☐ 暖房は室温20℃を目途に設定しましょう。

ばい煙発生施設を使用している事業者

- ☐ 施設の燃焼管理を適正に行いましょう。
- ☐ 燃料使用量を削減しましょう。
- ☐ 窒素含有量の少ない燃料へ転換しましょう。
- ☐ 排ガス処理装置を適正に管理しましょう。

自動車を使用・利用している事業者

- ☐ 業務用車両の効率的な使用に努めましょう。
- ☐ 自動車の買い替え時や使用時には、九都県市指定低公害車又は最新規制適合車を優先して選びましょう。
- ☐ アイドリング・ストップを実施しましょう。
- ☐ 急発進・急ブレーキを行わない等のエコドライブを実践しましょう。
- ☐ 貨物の運送に当たっては、環境により良い自動車*で運送ができる事業者に依頼しましょう。
- ☐ 従業員（職員）の自家用車による通勤を最小限にしましょう。

*：環境により良い自動車については、九都県市首脳会議リーフレットをご覧ください。
(<http://www.9taiki.jp/inflow/pdf/leaflet2016.pdf>)

Ⅱ 県民が実施する対策メニュー

- ☐ 節電に努めましょう。
- ☐ 暖房は室温 20℃を目途に設定し、重ね着などの工夫に心掛けましょう。
- ☐ 暖房機器やガス給湯器の買い替え時には、大気汚染物質の排出の少ない機器を選びましょう。
- ☐ 太陽光等の自然エネルギーを活用しましょう。
- ☐ 外出時は、自転車や公共交通機関の利用に努めましょう。
- ☐ 自動車の買い替え時や使用時には、環境負荷の少ない車を選びましょう。
- ☐ アイドリング・ストップを実施しましょう。
- ☐ 急発進・急ブレーキを行わない等のエコドライブを実践しましょう。

Ⅲ 県・市町村が実施する対策メニュー

- ☐ 節電に取り組みます。
- ☐ 暖房は室温 19℃を目途に設定します。
- ☐ 公用車の使用は最小限にします。
- ☐ 自動車を使用する場合は、九都県市指定低公害車又は最新規制適合車を優先します。
- ☐ 地方公共団体の業務を受託した事業者が使用する自動車について、九都県市指定低公害車又は最新規制適合車の優先利用を指導します。
- ☐ アイドリング・ストップを実施します。
- ☐ 急発進・急ブレーキを行わない等のエコドライブを実践します。
- ☐ 使用工事車両等について、「排出ガス対策型建設機械指定要領（国土交通省）」等に基づき指定された排出ガス対策型建設機械等の優先使用を図ります。
- ☐ 職員の自家用車による通勤は最小限にします。

参 考 資 料

- 1 九都県市低公害車指定制度 (<http://www.9taiki.jp/>)
 - 九都県市（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市及び相模原市）では、自動車から排出される窒素酸化物等の大気汚染物質を削減するため、自動車排出ガス規制値等に一定の基準を設け、その基準を満たしている自動車型式を指定し、その普及促進を図っています。（平成 29 年 7 月末 2, 785 型式）
 - 九都県市はエコドライブを推進しています。エコドライブの詳しい内容につきましては、別添の「簡単！エコドライブ・テクニック」を参照してください。
- 2 排出ガス対策型建設機械指定要領について
 - 国土交通省において定めた「建設機械に関する技術指針」（平成 3 年 10 月 8 日付建設省経機発第 247 号）に基づき平成 4 年度より施行された指定制度です。
 - 国土交通省においては、直轄工事において優先使用に努めることとしています。

作 成：千葉県環境生活部 大気保全課 大気指導班 電話 043-223-3802
循環型社会推進課 環境保全活動推進班 電話 043-223-4144
ホームページ：<http://www.pref.chiba.lg.jp/taiki/toukitaisaku.html>

☆☆千葉県では、近隣の都県市と共同して冬期の大気汚染対策を呼びかけています☆☆